

## 道の駅「国見あつかしの郷」に登録証が伝達

道の駅国見の登録証伝達式が10月24日、国見町役場で行われ、石井宏明福島河川国道事務所長から太田久雄町長に道の駅「国見 あつかしの郷」の登録証が手渡されました。  
国土交通省は、10月7日に新たに全国で14駅を登録、このう



ち3駅が東北で、道の駅「国見あつかしの郷」は福島県内で30番目の登録となりました。  
伝達式では、石井所長から「道の駅完成後も町と連携して、町の取り組みに協力していきたいです」とあいさつがありました。  
太田町長は「道の駅は復興のシンボルであり、農産品を活用した六次化産業や観光周遊の拠点、災害に対応した防災対策施設として町民の期待が高まっています」と述べました。  
道の駅国見は24時間利用可能なトイレや情報コーナー、地域産品の直売所、レストラン、宿泊施設などを設置しています。また、地域での防災拠点機能を高めるため非常用発電施設や非常用トイレなども整備し、平成29年春オープンを目指し整備を進めています。

## くにも演歌まつりを開催

くにも演歌まつりが10月9日、観月台文化センターホールで開催され、会場を埋め尽くした来場者は、演歌を堪能しました。

福島演歌塾（鈴木勝二塾長）の協力で開催され、第1部では全国カラオケ大会に出場するのど自慢9人がそれぞれ歌を披露しました。また、ゲストの鴻巣巧一さん（みちのくレコード）、三浦良太さん（キングレコード）



左から太田町長、ももたん、市川さん、鈴木塾長

も登場し、ステージを盛り上げました。

第2部では国見町応援大使の市川由紀乃さん（キングレコード）オンステージが行われ、ヒット曲「心かさねて」などを披露しました。客席からのたくさんの声援に市川さんは笑顔で手を振り、ひとつひとつ丁寧に対応するなど市川さんの優しさあふれるステージとなりました。



美しい歌声を披露しました

## 交流を深め、秋の味覚をPR

### みの池田ふるさと祭へ参加

国見町は、友好交流協定を締結している岐阜県池田町で開催された「第39回みの池田ふるさと祭」へ参加しました。

ふるさと祭は10月1日と2日に行われ、国見町からは太田久雄町長をはじめ、佐藤正春町内会長連絡協議会長、岡崎長市商工会長、青年農業者、国見ジュニア応援団、ミスビーチらが参加し、町特産品のモモやリンゴ、



国見町ブースではおいしい果物をPR

ブドウなど旬の味覚をPRしました。

ふるさと祭の会場は2日間ともたくさんの人で賑わい「国見町の果物は甘くてとてもおいしい」と好評でした。

また、ジュニア応援団と池田町温知小学校児童との交流会も開催され、お互いの町のPRや意見交換を通して親交を深めました。



池田町特産のお茶で茶もみを体験するジュニア応援団

## チーム力でつないだ

### 第3回市町村対抗福島県ソフトボール大会

市町村対抗ソフトボール大会が相馬市で開催されました。

国見町チームは16日、双葉町と対戦しました。応援が後押しし、チーム総力での攻守とも素晴らしいプレーにより8対0と快勝し、次戦につなぐ勝利となりました。

2回戦は22日、中島村と対戦しました。初回の攻撃で1点を先制し、国見町に流れを呼び込みました。その後、1回裏に中



初戦を勝利で飾った国見町チーム

島村に同点とされると、3回には中島村に4点を奪われ、国見町は追う苦しい展開となりましたが、選手たちは集中力をきかず、6回までに同点に追いつきました。しかし、6回裏に決勝点となる1点を中島村に奪われ、5対6で敗れました。

敗戦となりましたが、選手の粘り強いプレーに、会場からは惜しみない拍手が送られました。



粘り強いプレーを見せた対中島村戦